

# 薬剤師の専門性および多職種連携による 職能発揮が患者の薬局選択意識 に与える影響について

株式会社クリエイトエス・ディー  
クリエイト薬局八王子堀之内店

中村 優花、竹内 舞、望月 絵理、原 智子

## 【研究背景】

2015年に厚生労働省が掲げた「患者のための薬局ビジョン」には、患者本位の医薬分業の実現がうたわれている。患者は自由意思によりどこの薬局へも処方箋持参が可能である。

## 【目的】

- 当薬局の有する機能が患者の病態改善や身体機能の維持・向上に寄与し、**QOLの維持・改善**につなげることができているかを探る。
- 薬剤師の**専門性および多職種連携**による職能発揮が患者に与える影響を考察し、その重要性への認識を周知する。

# ～クリエイト薬局八王子堀之内店が有する機能～

## 薬剤師の専門性

認知症研修認定薬剤師による地域支援

→多職種による「認知症介護者家族会」の開催

## 多職種との協働・連携

医師、管理栄養士との連携

→「個別栄養相談会」開催

地域包括支援センターとの連携

→「地域ケア会議」への定期参加

## 多職種による「認知症介護者家族会」

当薬局の認知症研修認定薬剤師と地域包括支援センターの協働により薬局での「認知症介護者家族会」を毎月開催。多くの多職種が参加。



## 個別栄養相談会

地域のかかりつけ医と連携を図り、管理栄養士との協働により「個別栄養相談会」を実施。患者それぞれの病態やニーズに応じたオーダーメイドの栄養指導を行っている。



# 【方法】

2024年3月9日～5月18日の来局患者に対し、令和4年度厚生労働省保険局医療課委託調査「薬局の機能に係る実態調査」の「患者が薬局を選択する理由」（以下、厚労アンケート）の選択項目に当薬局独自の選択項目を加え、アンケート調査を行い、厚労アンケートと比較した。

(日本薬局学会倫理審査委員会承認：24004番)

## 厚労アンケート項目

- 以前からよく利用している薬局だから
- 自宅から近いから
- 勤務地から近いから
- 受診している病院・診療所から近いから
- 自分のことをよく理解して対応してくれるから
- 信頼できる薬剤師がいるから
- 話しやすい・人柄の良い薬剤師がいるから
- 病院・診療所としっかり連携しているから
- 早く薬を渡してくれるから
- いつでも電話相談等の連絡が可能だから
- 居心地のいい雰囲気があるから
- 病院・診療所や知人などから評判を聞いたから

## 厚労アンケート(2285名回答)



0 20 40 60 80 100 (%)

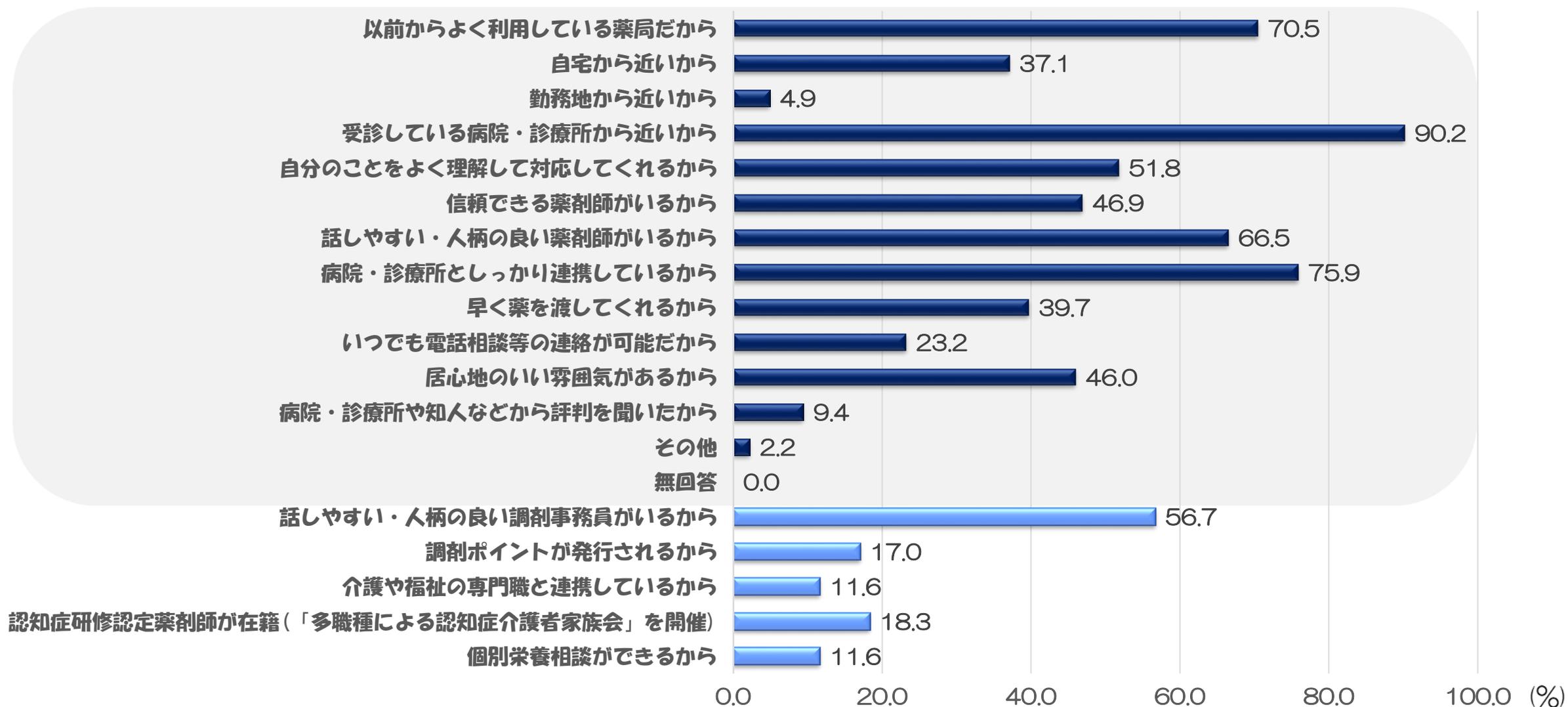
## 当薬局独自の選択項目

- 認知症研修認定薬剤師が在籍(「多職種による認知症介護者家族会」を開催)しているから
- 個別栄養相談ができるから
- 介護や福祉の専門職と連携しているから
- 話しやすい・人柄の良い調剤事務員がいるから
- 調剤ポイントが発行されるから
- その他

(複数回答可、フリーコメントおよび来局方法記載欄あり)

# 【結果】

## クリエイト薬局八王子堀之内店(224名回答)



## 厚労アンケートとの差異が大きかった上位4項目

- ① 「病院・診療所としっかり連携しているから」  
→厚労アンケート**16.1%**、当薬局**75.9%**
- ② 「病院・診療所が近いから」  
→厚労アンケート**48.8%**、当薬局**90.2%**
- ③ 「話しやすい・人柄の良い薬剤師がいるから」  
→厚労アンケート**33.5%**、当薬局**66.5%**
- ④ 「居心地のいい雰囲気があるから」  
→厚労アンケート**15.0%**、当薬局**46.0%**

## 当薬局独自項目について

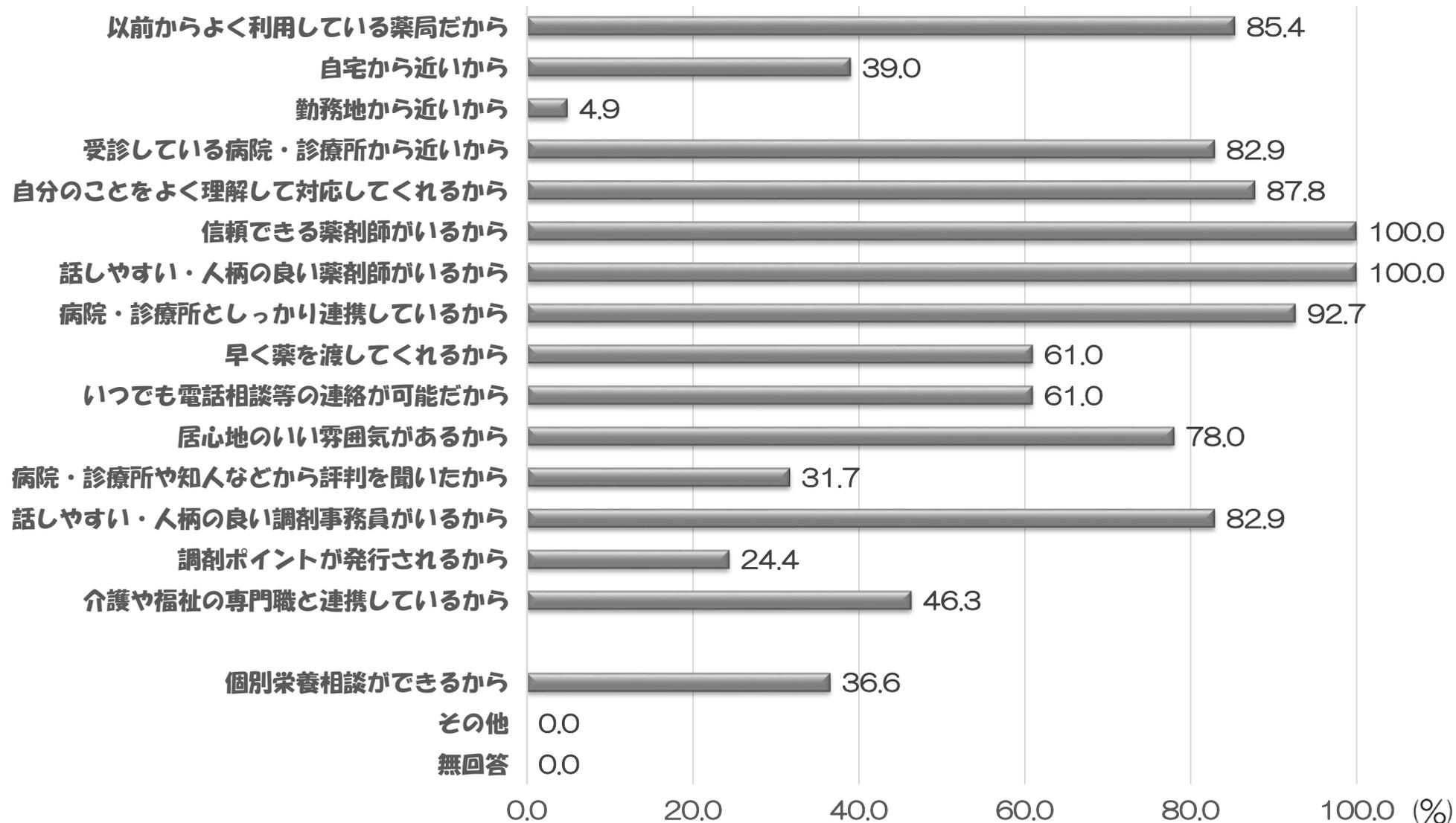
- 「認知症研修認定薬剤師が在籍」の**選択者(18.3%=41名)全員**が「信頼できる薬剤師がいるから」「話しやすい・人柄の良い薬剤師がいるから」も選択→表①

アンケート期間中の抗認知症薬処方件数は9件

→**41名**の中には、現在認知症と係わりのない患者も多いと推測

- 「話しやすい・人柄の良い調剤事務員がいるから」は56.7%  
「話しやすい・人柄の良い薬剤師がいるから」66.5%に次ぐ評価

表① 「認知症研修認定薬剤師が在籍」を  
 選択した41名が併せて選択した項目



## 「認知症研修認定薬剤師が在籍」の選択者

### 得られたコメント

- 医師と連携して問題解決し、速やかな対応を実施
- 「認知症介護者家族会」が有意義で居心地が良い
- 知識の豊富さ、介護者への親身な相談対応により介護負担軽減
- 不安に寄り添ってくれることで精神的負担軽減

### 評価

認知症では、早急な対応が求められることも少なくない。

症状に困惑する患者、疲弊した家族等に対する**認知症研修認定薬剤師の専門的な対応の有効性**が示されたと考えられる。

さらに、「認知症専門の薬剤師」の存在が**将来の認知症に不安を持つ患者の安心材料**となっていることが推察された。

## 「個別栄養相談ができるから」の選択者

### 得られたコメント

- 2ヶ月に1回相談を受けているため話しやすい
- 生活スタイルや嗜好に合わせた栄養指導により、希望が持てた
- 個人的に相談できるのは高齢者には有意義

### 評価

「個別栄養相談ができるから」を選択した患者は11.6%＝26名、しかしコメント取得は3件に留まった。

→アンケート期間中に来局した栄養相談体験者は47名。指導により体重減少、血圧改善などの効果を得た患者が複数存在したにもかかわらずそれらへの言及はなく、栄養指導に対するインパクトの弱さが推測された。

## その他の評価

- 「話しやすい・人柄の良い調剤事務員がいるから」

56.7%＝127名が選択した。

薬局の選択理由に調剤事務員の対応や人柄が大きく影響することが示された。専門性を有する当薬局では個々の患者に最適な薬局機能を発揮させるべく事務員の立場からも考え、対応する必要がある。それらへの一定の評価が得られたと考えられる。

## 【考察】

門前医との綿密な連携が示唆され、管理栄養士との協働にも期待の声は得られたが、栄養指導後のフォローアップ体制構築が課題となったことから、継続的な栄養指導が患者のQOL向上に寄与すると考えられた。

一方で、認知症者・家族のみならず、現在認知症治療と関連のない患者も認知症研修認定薬剤師の在籍を来局理由としている可能性があり、将来の認知症への不安とともに認知症の身近な相談先確保への希求が窺えた。

多面的かつ専門的な薬局機能は患者への多様な介入を可能とし、安心や信頼を生み、継続的な患者支援の実現に寄与すると考えられる。

# 日本薬局学会 COI 開示

筆頭発表者名：株式会社クリエイトエス・ディー 中村 優花

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業等  
はありません。